

青森でご活動されている誘致企業が実際に触れてみて良かった、楽しかった、
今後行ってみたい青森の祭り、温もり、文化・歴史・食をご紹介します。

八甲田山(蔦沼)

八甲田山は、日本百名山の一つに数えられる火山群の総称。登山道も整備され、ロープ
ウェーを利用すれば、子どもから大人まで気軽にハイキングが楽しめるコースもあります。

十和田市現代美術館

官庁街通り全体を美術館に見立て、建築とアートによる街づくりスポット。国内外のアー
ティストの作品展示はもちろん、広場や歩道にもユニークなアート作品が点在しています。



菜の花畑

横浜町全体で約100万㎡もの菜の花畑があ
り、見頃となる5月上旬～中旬は、一面黄色に
染まる景色が楽しめます。ナタネ油など100
種類もの特産品に加工され、お土産として人
気があります。



黄金崎不老ふ死温泉

広大な日本海の風景を望む高台の露天風呂
や、浪打ち際の海岸露天風呂からは、温泉に浸
かったまま雄大な日本海の風景が多能できま
す。



十三湖のしじみ

十三湖は津軽半島北西にあり、淡水と海水が
混じり合った汽水湖。しじみの生息にもっと
も適した大和シジミの豊富な湖です。しじみ
の旨味を多能できる、しじみラーメンも人気
があります。



八甲田「雪の回廊」

酸ヶ湯から谷地までの冬季閉鎖されている道
が、4月1日に開通します。開通前には、酸ヶ湯
～谷地間8kmを歩く八甲田ウォークが毎年
行われます。雪の回廊は高さが10mになると
ころもあります。



酸ヶ湯温泉

江戸時代に開湯した白濁のいで湯。広さ160
畳、総ヒバ造りの「千人風呂」では、熱の湯、冷
の湯、四分六分の湯などが楽しめます。



フジツボ

青森近海でとれる海の幸34種の魚介類を総
称した「七子八珍」。その中の一つ「フジツボ」
は甲殻類の仲間です。蒸したり煮たり焼いたりし
て食べることができます。カニやエビの味に
似ています。

企業立地のご相談・お問合せ

青森県 商工労働部 産業立地推進課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL.017-734-9381 FAX.017-734-8109
E-mail:kogyo@pref.aomori.lg.jp

青森県 東京事務所 産業立地推進課

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 住友生命八重洲ビル5階
TEL.03-3271-0707 FAX.03-3271-0708
E-mail:A-TOKYO@pref.aomori.lg.jp

青森県 名古屋産業立地センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル8階
TEL.052-259-7688 FAX.052-259-7805
E-mail:a-nagoya@pref.aomori.lg.jp

青森県 大阪情報センター

〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
TEL.06-6341-2184 FAX.06-6341-7979
E-mail:a-osaka@pref.aomori.lg.jp

青森県 福岡情報センター

〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-34 住友生命福岡ビル1階みちのく夢プラザ
TEL.092-736-1129 FAX.092-716-2037
E-mail:a-fukuoka@pref.aomori.lg.jp

「青森県産業立地ガイド」ホームページ

青森 産業立地
<http://aomori-ritti-guide.jp>

青森Biz通信

知 っ て く だ さ い ! 新 ・ 青 森 力

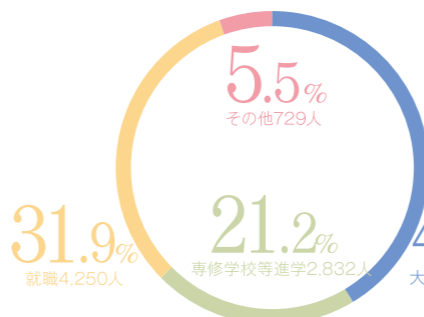


発行/平成25年10月
青森県企業誘致推進協議会
〒030-8570 青森市長島1-1-1
tel.017-734-9380(直通)

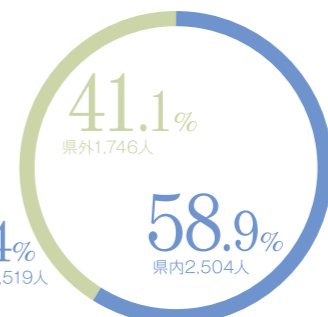
あおもり人財力!企業の未来を青森から



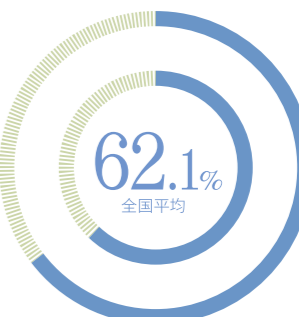
平成24年3月高校卒業生進路状況
高校卒業生13,330人



高校新規学卒者県内外の就業者数
就業者数4,250人



全国学力テスト正答率
2013年文部科学省「公立小中学校全教科正答率を相加平均」



※通学しながら就業する者を含む

カメラから、内視鏡へ。 製品シフトという 新しい挑戦を、黒石工場が 成功させてくれました。

新しい分野を切り拓くために、
変わらなければならない。
20年目で求められた決断でした。

オリンパス、といえばカメラですが、その技術から派生したのが医療用の内視鏡です。体内を直接観察しようとする器具自体は、古代ギリシャの頃から試行錯誤されてきた記録があるようですが、信頼に足る技術によって世界で初めて胃カメラの実用化に成功したのがオリンパスです。以降、オリンパスはトップランナーとして走り続け、現在、世界の内視鏡の7割のシェアを占めています。そして内視鏡はただ見ることに留まらず、処置具と呼ばれる器具と併用することで、治療そのものができるようになりました。この処置具を作っているのが、私たち青森オリンパスです。



黒石市に工場が設立された40年前の時点で、コンパクトカメラやマイクロカセットレコーダーなどを作っていました。その後、1994年から内視鏡関連事業を始め、2000年ごろに国内の処置具の製造を黒石に一括集約しました。開腹しなくても処置ができるという内視鏡のメリットは、患者さんの体への負担が少なくて済むこと、高齢化が進み需要の高まりが見込まれたことから集約することとなりました。



40年の実績から言えることは、
青森県なら、進出企業にとっても
メリットが大きいということです。

ここは空港にも高速道路のICにも近いので、
物流はもちろん、人材交流もスムーズです。内
視鏡を開発する際、図面を起こして設計開発す



前社長・技術部エンジニア育成担当部長
神原 浩司さん

る部署が八王子にあります。量産化にあたっては黒石工場の現場とのやりとりが必要です。そんなときも八王子や黒石に集まって会議をしています。グループ全体では海外にも工場がありますが、実際の距離からするとこうはいきません。質の高い人材と広い土地を低いコストで確保しつつ、会って会議もできる。進出企業としては大きなメリットです。



環境としては暮らすには最高ですね。食べものがおいしいし、自然が美しくて祭りもある。桜、新緑、ねぶた、紅葉、どれも毎年楽しみにしています。雪も普通に暮らすエリアはちゃんと除雪されるので、思ったほど大変ではありませんでした。あと温泉！私は温泉が大好きなので、もう100カ所以上まわりましたよ（笑）。

進出を検討されている企業の皆さん、青森県は大いにお薦めです。一緒に青森を盛り上げましょう。

青森オリンパス株式会社

〒036-0357 青森県黒石市追子野木2丁目248-1
設 立 1973年3月
創 業 1973年3月
誘致年数 40年
従業員数 613人
事業内容 医療用内視鏡関連製品
(医療用処置具製品)の開発・製造

2013年4月現在



取締役社長
高石 昌雄さん

車両から、ロケットまで。
パッキン一筋で歩み続けて
フィールドは世界へ。

阪上製作所は、創業100年を越えるパッキン専門メーカーの老舗です。ひと言でパッキンといっても様々です。メインは、産業用機械・機器の空気圧用パッキン、油圧用パッキンです。身近なところでは、車両の油圧パワステ、鉄道ドアの開閉部分やブレーキ、そして時には宇宙ロケットにも使用されています。



パッキンは小さな部品ですが「安全」に影響する重要な部分です。前述の乗物の安全もあれば、食の安全にも関わります。田植機の油圧で油が漏れたら、田んぼを汚します。だから絶対の信頼性が求められます。

我々はそのために地道に努力しています。ゴムの配合など材料開発は客先ごとに取り組みます。何度も性能試験をするのは当たり前。量産体制に入っても抜き取り検査をしますし、納品後はアフターフォローで問題点について現場にフィードバックします。こうして長年掛けて培った技術とデータが信頼を生み、阪上ブランドを育みました。その甲斐あって、国内でのシェアの高さを保ちつつ海外からの引き合いも増えています。

質の高い人材確保はもちろん、
リスクヘッジとしても
青森は工場立地に向いています。

青森市に進出したのは1995年です。バブル景気以降、工場の増設を検討していましたが、関東では土地と人材の確保が難しい状況でした。そこに、当時の青森市の誘致担当課長さんを始め、市長さんまで我々のところに通って下さいま

激動の時代の リスクヘッジとしても、 青森工場の存在意義が 高まっています。

青森工場には、
メイドインジャパンの拠点として
期待するものがあります。

よく聞かれますが、我々は海外に工場をつもりはありません。技術流出のリスクがありますし、メイドインジャパンにこだわりたい、という思いもあるからです。



我々は家族的経営で会社に帰属意識をもってもらい、とことん教えるスタイル。人材育成に何年も時間を費やします。これは海外の個人主義的な労働スタイルには、きっと合わないでしょう。ものづくりには「人間の五感で覚えるもの」というのがあると考えています。それは長年携わることで身に付くもの。実際、パートの方で、長年の経験から、触感だけで製品の微細な異常に気づいてくれた例もあります。そんな日本人ならではのものづくりに誇りをもって、これからも国内生産にこだわりたいと思います。青森工場のまじめで粘り強いスタッフなら、この期待に応えてくれると信じています。



青森の方々は皆さん真面目です。特にパートの女性たちが非常に優秀です。ただ全体に地元志向が強いには驚きました。関東の工場への転勤を打診すると渋る方が多い。皆さん本当に青森が好きなんだなと思います（笑）。実際、環境がいいです。東京の者が青森に赴任すると、喘息や花粉症の症状が軽くなるとよく聞きます。食べものも安くておいしいです。私は生姜味噌おでんが好きです。



青森市は昨今、新幹線の駅ができ高速道路も延び空港も整備されて、格段に交通アクセスがよくなり時間的に近くなりました。その反面、関東から実際の距離があるということにも価値があります。つまり、リスクヘッジとして生産拠点を分散させるという考え方です。東日本大震災の時には、まさにそれを実感したものです。「遠い＝不便」ではなく、「遠いことに意味がある」時代になったのです。

株式会社阪上製作所青森工場

〒038-0031 青森県青森市大字三内字丸山394-104

本 社 東京都墨田区錦糸4-17-6
創 業 1897年
設 立 1934年5月
工場操業開始 1995年
誘 致 年 数 18年
従 業 員 数 419人(青森工場35人)
事 業 内 容 合成ゴムパッキン、合成樹脂パッキン、
各種ジャバラ製品等の製造および販売

2013年8月現在